

年間授業計画

教科名	言語文化	2 単位	学年・学科	1 年	総合ビジネス科必修
-----	------	------	-------	-----	-----------

月	単元名	指導内容	予定 時数	単元における学習目標・評価方法等	単元テスト等
4	古文入門	古文の学習	4	言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解すること。 文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えること。	○
5	古典特有の表現を理解し、 古典の世界に親しもう	「児のそら寝」(宇治拾遺物語)	7	古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解すること。 作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈すること。	
6	「羅生門」を原作と読み比べて、 作品の特徴について考えよう	「羅生門」芥川龍之介 (本文は現代の国語を用いる)	8	言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解すること。 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使うこと。 作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもつこと。	○
7	随筆文学の面白さを発見しよう	「春はあけぼの」(枕草子)	7	古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解すること。 作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもつこと。	○
8	古典の詩歌に対する理解を深め、 言葉の書き換えに挑戦しよう	「古典の和歌を現代の言葉で書き換える」俵万智	4	本歌取りや見立てなどの我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解すること。 自分の知識や体験の中から適切な題材を決め、集めた材料のよさや味わいを吟味して、表現したいことを明確にすること。	○
9	わが国最初の日記文学を読んで、 記録としての日記とは異なる表現方法を学ぼう	「門出」(土佐日記)	4	我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き読感を豊かにすること。 文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価すること。	○
10	近代文学作品に込められた 思想について、考えを深めよう	「夢十夜」夏目漱石(本文は現代の国語を用いる)	8	常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使うこと。 言文一致体や和漢混交文など歴史的な文体の変化について理解を深めること。 作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもつこと。	○
11	物語を読み、そこに描かれた さまざまな心情や人間模様を読み取ろう	「筒井筒」(伊勢物語)	8	時間の経過や地域・文化の特性などによる文字や言葉の変化について理解を深め、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解すること。 作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めること。	○
12	地域の伝統行事取材して 随筆を書こう	「祭り」をテーマに随筆を書く	6	文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解すること。 自分の体験や思いが効果的に伝わるよう、文章の種類、構成、展開や、文体、描写、語句などの表現の仕方を工夫すること。	○
1	漢文を身近に感じよう	「漢文を読むために」 訓読のきまり、助字、置き字、再読文字	4	我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解すること。 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解すること。 作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈すること。	○
2	故事成語として今日まで親しまれている 言葉を集めよう	故事成語(漁父之利・蛇足)	4	我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き読感を豊かにすること。 文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価すること。	○
3	様々なジャンルの漢文を読み、 漢文の世界の魅力を味わおう	先従隗始 漢文世界の広がり(論語、桃花源記)	6	我が国の言語文化への理解につながる読書の意義と効用について理解を深めること。 作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めること。	○